

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公開番号】特開 2017-209810 (P2017-209810A)
 【公開日】平成 29 年 11 月 30 日 (2017.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-046
 【出願番号】特願 2016-102759 (P2016-102759)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 11/42 (2006.01)

B 6 5 H 9/14 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/42

B 6 5 H 9/14

B 4 1 J 2/01 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 20 日 (2019.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

請求項 1 に記載の記録装置であって、

前記制御手段は、前記ニップ部を前記先行記録媒体が通過する前に、前記後続記録媒体に対して前記斜行矯正を実行する場合、前記斜行矯正を開始してから、前記記録動作を終了するまでの時間と、前記斜行矯正に要する時間のうちの長い方の時間の間、前記ローラ対を停止する、

ことを特徴とする記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

記録装置 1 0 0 は、M P U 2 0 1 を備える。M P U 2 0 1 は、記録装置 1 0 0 の各構成の動作を制御可能であり、また、データの処理なども行うプロセッサである。M P U 2 0 1 は、後述するように、先行シートの後端部と後続シートの先端部とが重なるように記録シート 1 の搬送制御を実行可能である。R O M 2 0 2 は、M P U 2 0 1 によって処理されるプログラムやデータを格納する R O M である。R A M 2 0 3 は、M P U 2 0 1 によって実行される処理データ及び情報処理装置 2 1 4 から受信した記録データを一時的に記憶する R A M である。なお、R O M 2 0 2、R A M 2 0 3 に代えて他の記憶デバイスを用いることも可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

情報処理装置 2 1 4 は、例えば、パソコン、携帯端末（例えばスマートフォンやタブレット端末等）であり、記録装置 1 0 0 のホストコンピュータとして機能する。情報処理装置 2 1 4 は、CPU 2 1 4 a と、記憶デバイス 2 1 4 b と、I / F 部（インタフェース部）2 1 4 c とを備える。CPU 2 1 4 a は、記憶デバイス 2 1 4 b に格納されたプログラムを実行する。記憶デバイス 2 1 4 b は、RAM、ROM、ハードディスク等であり、CPU 2 1 4 a が実行するプログラムや、各種のデータを格納する。記憶デバイス 2 1 4 b には、記録装置 1 0 0 を制御するためのプリンタドライバ 2 1 4 1 が格納されている。プリンタドライバ 2 1 4 1 の実行によって、情報処理装置 2 1 4 は、記録データを生成可能である。情報処理装置 2 1 4 と記録装置 1 0 0 とは、I / F 部 2 1 4 c、I / F 部 2 1 3 を介して、データの送信及び受信が可能である。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【図 5】

